



秋田県松木内川堤の夜桜

とうほく

AOMORI・IWATE・MIYAGI・AKITA・YAMAGATA・FUKUSHIMA



年頭のご挨拶

東北地区屋外広告美術業組合連合会 会長 大戸 邦男

(福島県屋外広告美術協同組合理事長)
(福島県 (株)クリエイティブダイワ)

2026年の年頭にあたり一言ご挨拶申し上げます。

日頃より連合会の活動に対し、温かいご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

看板は、街の風景を彩り、企業や店舗の想いを伝え、地域のにぎわいを支える大切な存在です。一方で、屋外に設置される看板は、風雨や紫外線、積雪や地震など、常に厳しい自然環境にさらされています。だからこそ、私たちは「つくる責任」だけでなく、「守る責任」を強く意識しなければなりません。

近年、全国各地で台風や突風、大雪などの自然災害が増加しています。万が一、老朽化した看板や適切な点検が行われていない構造物が事故を起こせば、それは単なる設備トラブルではなく、通行される皆さまの安全を脅かす重大な問題となります。看板の安心・安全を確保することは、そのまま地域の安全を守ることに直結しているのです。

このような背景を踏まえ、私たち看板組合は、保守点検体制のさらなる強化に取り組んで行かねばなりません。具体的

には、定期点検の徹底、点検技術の向上を目的とした研修の充実、法令や条例の

遵守徹底、そして所有者の皆さまへの適切な情報提供を進めてまいります。また、行政とも連携しながら、地域全体で

安全意識を高める環境づくりを推進していきたいと考えております。安全な看板は、安心して歩ける街をつくりまします。安心できる街は、人が集い、商いが活性化し、地域の魅力を高めまします。看板の安全対策はコストではなく、未来への投資であり、地域社会への責任ある行動です。

私たちは、看板を単なる広告媒体とは捉えておりません。それは街の文化であり、企業とお客様をつなぐ架け橋であり、地域の誇りでもあります。その価値を守り、次の世代へと引き継ぐためにも、日々の点検と誠実な仕事の積み重ねを大切にしていましよう。

今後とも、看板組合は業界の健全な発展と地域の安全確保の両立を目指し、開かれた団体として活動を続けてまいります。皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

山形県屋外広告美術協同組合

理事長 佐藤辰夫

役員・会員一同

昨年の全国大会の際は
ご協力ありがとうございました
感謝申し上げます

3M™ Special contract
Authorized dealer
DECORA

<https://idecora.co.jp/>
E-mail:decora-s@mail.idecora.co.jp

第48回東北6県公共キャンペーン作品展

【概況】 令和7年11月27・28日、宮城県栗原市JR東日本東北新幹線くりこま高原駅1階「栗原市観光案内所内」に於いて、宮城県屋外広告美術協同組合の担当により、2日間開催しました。

この作品展では、東北各県より25作品が出展され、「交通安全啓発」「自然環境」「観光」の3テーマから選択し製作された、個性豊かな作品が数多く出展されました。新幹線駅の利用者の待合場所として活用される場所柄、時間待ち、人待ちといった皆様に足を止めて鑑賞していただきました。

この会場は令和2年の宮城担当時に借用予定でした。コロナ禍で止む無く中止となりましたが、今回、再度栗原市の担当課より実施許可が得られ、作品展を無事開催することができましたことは感謝しかありません。

28日作品審査は合同会議前に合同会議出席者の6県理事長と各県出席者1名を選出し計12名により行う形になった新方式での審査会は今回2回目になりました。

審査委員の採点結果については、運営担当の地区連技術開発副委員長と地元の技術開発委員が集計し、最終的に入選作品7点の決定は、理事長6名となります。

今回も甲乙つけがたい作品が多数ということで、難航した模様ですが7作品が決定しました。同業者の厳しい目と素人には知りえない素材や独自性等も含め、より細かい点について厳格な審査が行われました。



第1位 (一社)日広連会長賞 テーマ「観光」
山形県 (株)スカワ 増田 果菜子 氏

- 《審査委員 10名》 ※欠席2名
- 青森県 石澤理事長・楠美専務理事
 - 秋田県 石井理事長(技術開発委員長)
 - 岩手県 佐藤専務理事
 - 宮城県 佐々木理事長・森理事
 - 山形県 佐藤理事長・武田専務理事
 - 福島県 大戸理事長・高山専務理事
- 《運営担当》東北地区連
鈴木専務理事(技術開発副委員長代理)
今泉技術開発委員(宮城県技術開発委員長)
- 《審査委員長》 石井技術開発委員長

上位3作品は令和8年3月27日の宮城県仙台市で行われる東北大会会場に展示公開されることになっています。是非、ご出席の上でご覧ください。



第3位 全国広告美術技能士会連合会会長賞
宮城県 (株)築館看板 八重樫 健志 氏 テーマ「自然環境」



第2位 東北地区連会長賞 テーマ「自然環境」
岩手県 (有)第一美工 多田 國雄 氏



第5位 優秀賞1 テーマ「自然環境」
青森県 (有)千葉看板 千葉 みのり 氏



第4位 サインクリエイター協会賞
福島県 (株)天狗堂 鍋谷 隆 氏 テーマ「交通安全啓発」



第7位 優秀賞3 テーマ「自然環境」
山形県 (株)山新建装B 池上 善秋 氏



第6位 優秀賞2 テーマ「自然環境」
宮城県 (有)アカシヤ画房 小沼 信 氏

【講評】今回、宮城県栗駒市J.R栗駒高原駅 1階「栗駒市観光案内所」にて第48回東北6県公共キャンペーン作品展開催いたしました。担当されました宮城県の皆様に感謝申し上げます。審査委員が東北6県理事長・専務理事となり今回で2回目となりました。今回の作品展、組合員皆様の力の入れようが伝わってくるような作品が多くこの作品展にかけられる思い、意気込みが感じられ審査する皆様におきましては、作品に順位をつけるのに大変苦労されたことと思います。

審査会場での二コマですが、正面の仕上がりがだけでなく、小口の仕上げにも気を使うべきと指摘する声や、レーザーカットされ、きれいに仕上がっているが、今一何を表現しているかわからない。立体的に良くできているが、裏側のまるみもできれば表現してほしかったなど、我々業者から見た視点での意見が会話見られました。

審査結果第一位日広連会長賞は山形県の観光案内、各地域ごとに分けられた窓が引き出し式になっており、何があるのか楽しんでみられる作品で明るく構図もよく仕上がりの良さが際立っていました。この作品を観光施設に寄贈してはという意見があり、検討することとなります。

第二位、東北地区連会長賞、岩手県・自然環境、手書きをデータ化したプリントしたと思われる作品、今の世相を切り取った、大きく口を開けた迫力ある熊のイラスト前面に大きく描き、熊の怖さを感じさせるわかりやすい作品となっております。

第三位、全国広告美術技能士会長賞・宮城県自然環境、前面に大きく描いた立体的な亀、大海の中、悠々と泳いでいるように見え、でも海の汚染に影響を受けて見える亀、広大な海を守らなければならないメッセージを発信していると思われる作品。

今回、テーマを自然環境・交通安全・観光といたしました、作品2.5点の内訳、自然環境1.8点交通安全5点観光2点となっております。テーマを一つすれば審査しやすくなるのではという意見もあります、が私としては、毎年作品を制作にあたり、選択肢が多いほうが、組合員の負担がかからないのかと思います、次回もこの三つのテーマで行いますのでよろしくお願ひします。

東北地区連技術開発委員長 石井 正幸

※12ページに全作品を掲載しております。



「東北のチカラ」

理事・啓発事業委員長 佐々木 徹
(株式会社アートサイン)

東北地区屋外広告美術業組合連合
会員・賛助会員・関係各位の皆様におかれましては、ますますのご清栄のこととお慶び申し上げます。

今年、あの東日本大震災から

はや15年。思い出したくない過去がいつまでも続く思いです。また節目の年だからこそ新たな思いを胸に前進したいものです。

私自身、当組合に所属しながらも組合青年部に20年以上所属しております。20年前は一番若く下っ端でしたが、今や最年長で老害とすら感じる場面が多々あります。その青年部では、毎年恒例となっている『全国交流会』というものがあ

ります。毎年持ち回りで、各地方に全国から数多くの青年部会員の強者が集まり、活発な会話を楽しみながら交流を深めていくという、年に一度の大イベントです。

我が宮城でも2014年に行われました。当時は震災から間もない時期という事もあり、石巻の被災地を

巡ったり、全国の青年部の皆様から送られてきた支援物資に感謝の思いを届けたりと、その時も意欲ある活発な会話で盛大に盛り上がったことを覚えております。

当組合では残念ながら年々会員数が減少していく一方ですが、我が宮城の青年部は、会員数が増えております。それはこれまで築き上げてきた先輩方の努力、影響力の賜物だと思います。私自身も親の代から続

2代目ではありますが、この前卒業した方の息子さんが入れ替わりで新たに入会し、伝統を受け継いでくれています。さて、今年2026年の全国交流会は『東北・岩手県』で開催され

ます。東北で開催されるのは宮城に続き2回目です。東北6県の青年部は、青森・岩手・山形・宮城の4県しかありません。秋田、福島がないのはとても残念でなりません。東北の青年部の総称を「サインフォーラム東北」と言います。

今からでも間に合います!!

今回は岩手青年部主催の開催となりますが、宮城以外の青年部会員は各県少人数で形成されているのが実情であり、とても単独県のみで開催するのは困難な状況であります。これは東北だけではなく、他の地方も同じような状況に陥っています。

我がサインフォーラム東北は、会長である宮城・阿部直哉氏を先頭に、岩手をはじめ、青森、山形の青年部会員の仲間達が、力を合わせ

丸となって準備に邁進しています。若者の力、東北の力を全国から集める同志達に見せつけて、盛大に盛り上がり成功することを祈念します。開催は10月です!!

私は最年長ですので、あたたかく見守りますが・・・

これを見て、興味の沸いた未来ある若者は是非入会をオススメします。



暮らしに彩りを。

人間にやさしい美しい環境と健康でこころ豊かな暮らしを

塗料・看板資材・塗装設備機器販売

中村塗料販売株式会社

本社 〒998-0823 山形県酒田市卸町1-4
TEL.0234-22-7611 FAX.0234-22-7642
営業所 / 酒田・仙台・秋田
<https://www.nakamuratoryo.co.jp/>

東北地区事務局通信

今回の機関紙とうほく「第37号」は、11社の協賛広告を頂戴し、各県啓発事業委員長を始め多くの皆様のご協力を得て、3月27日には青森県組合や山形県組合等のHPからダウンロードが可能になります。

紙媒体からデジタル版へ移行した「機関紙とうほく」は2017年3月17日の第28号から、青森県組合の担当で「星野リゾート青森屋」で東北大会が行われたその日でした。当時青森県組合の専務理事で啓発事業委員長でもあった木村光徳氏の存在なしには、デジタル版での発行はあり得ませんでした。木村様本当に有難うございます。

そして、それ以降も発行日の毎年3月の東北大会開催日に合わせ、協賛各社の広告データと各県の皆様の寄稿原稿の到着を待ち、さらに事務局高橋の下手っぴな写真も見事に再生させ、完璧な新聞に仕上げたデジタル版が公開されています。

是非是非、今号も沢山ダウンロードしていただけますように……!!

事務局長 高橋

福島



「後継者問題について」

理事・啓発事業委員長 星 臣
(ホシトモ)

福広美後継者育成活動の一例

看板業界では近年、深刻な後継者問題が浮き彫りになっています。多くの企業が家族経営や中小規模で成り立ってきたため、経営者の高齢化とともに事業承継の課題が顕在化しています。後継者不在による廃業は、単に一企業の問題にとどまらず、地域経済や街の景観にも影響を及ぼします。

い世代にとって、看板業界は創造性を発揮できる魅力的な分野となり得ます。さらに、外部人材の登用や第三者承継、異業種との連携など、多様な承継の形を模索する動きも広がっています。

その背景には、若年層の就業意識の変化があります。看板製作はデザイン力だけでなく、施工技術や安全管理、素材知識など多様な専門性を必要とする。しかし、労働環境の厳しさを業界の将来性に対する不安から、若者が参入をためらう傾向が見られます。また、技能の多くが経験に基づく職人技であるため、短期間での継承が難しい点も問題を複雑にしています。

後継者問題の解決には、業界全体での意識改革が必要であり、技術や経験を体系的に伝える教育体制の整備、働き方の改善、そして職業としての魅力発信が欠かせません。伝統的な技能と新技术を融合させることで、次世代へ持続的につなげていく努力が求められていると思います。

一方で、この課題は新しい可能性も秘めています。デジタルサイネージや3D加工技術の導入により、業務の高度化・効率化が進んでいます。ITや映像表現に関心を持つ若

看板業界の未来は、単なる技術継承だけでなく、価値や理念をいかに引き継ぐかにかかっているのです。後継者問題は試練であると同時に、業界を再生・進化させる重要な契機なのであります。

まだまだ寒い日が続きますが、お身体ご自愛ください。
最後まで乱文をお読みいただきまして誠にありがとうございました。



いわき市立高野小学校において、手書きによる製作実演を行い、技能尊重機運の醸成にも貢献している。



クリエイティブダイワ古川 求氏による、令和5年11月いわき市立高野小学校の4年生から6年生のものづくり体験教室において、スタンドガラス風絵の指導を行っている。

屋外・内サイン/LEDサイン/デザイン/設計施工

東北エスピー株式会社

代表取締役 山田 浩

屋外広告士事務所 開設

〒963-8061 福島県郡山市富久山町福原字中田 34-1
TEL 024-922-0076 FAX 024-922-0084

ギャラリー 菜根 SAIKON

楽天市場・ヤフオク

AZARASHI PRO®

東北のバリ 郡山のモンマルトル

郡山市菜根 3丁目 31-15 TEL024-953-3205

CREATIVE DAIWA

<http://www.c-daiwa.co.jp>

株式会社 クリエイティブダイワ

山形



現実逃避：茨城県への旅

理事・啓発事業委員長 三澤 正義
(有限会社三沢看板)

令和8年。早いもので元号が変わって8年目になりました。窓の外を見ると猛吹雪。雪の少ない正月でしたが、今年最強最長の寒波が来ており例年に漏れず厳しい冬を迎えています。

ここ数年、この時期には雪のない土地への憧れもあり妻と二人で旅行する事に決めています。毎日の雪掻きからの現実逃避の旅行です。今年

は旅行先を茨城県に決め、宿泊地をネットで検索し、手頃な価格と周辺のロケーションが良さそうなホテルを予約しました。

当日は朝ごはんを家で食べてゆつくりの出発。自宅から車で十分の東北中央自動車道から東北自動車道、磐越自動車道、常磐自動車道と乗り継ぎ、昼食のために福島県いわき市に到着。ネットで評価の高い鮮魚食



堂うるこいちへ入店。お店一番人気の刺し身定食を注文しました。店員さんのテキパキした小気味よい接客が感じ良く、新鮮な地魚の刺し身が大変美味しく頂きました。また来てみたいと思ったお店でした。一般道で南下し福島県から茨城県へ。宿の到着には時間が早かったため、「関東の松島」の異名を持つ景勝地・五浦海岸を観光しました。

五浦海岸には、日本の近代日本画の発展に尽力した岡倉天心が設計した六角堂、旧宅・庭園があります。岡倉天心の名前は知っていましたが



敷地内にある岡倉天心記念五浦美術館でその業績や生涯を知る事が出来て有意義な時間を過ごすことができました。
車に戻り、車内の温度計を見ると気温十二度。米沢市とは十度の差。あまりの気温差に驚きました。

温暖な気候の土地はやはり羨ましいですね。

六角堂を後にし、磯原シーサイドホテルに到着。受付をしようとフロントに行くのと、「波の音が気になる方はこちらをどうぞ」と耳栓が置いてありました。それほど海のそばに建つホテルだったので。建物は古かったのですが、今風にセンス良くリノベーションされた雰囲気の良いホテルでした。そして何よりこのホテルは夕食が素晴らしかった。茨城県の海の幸、山の幸を使ったコース料理の品々で、贅沢な時間を過ごしました。次の日は大洗町まで足を伸ばし、神磯の鳥居、大洗磯前神社、鮮魚市場周辺を観光し大洗町の文化・食を堪能しました。

出かける度にいつも思うのは、車のナビだけでは観光地巡りは不便だという事です。やはり他県から来る観光客を案内したり、名所や歴史を説明するためには看板が必要なのだと実感します。一泊二日の旅行でしたが、茨城県の土地の文化を知った有意義な時間となり、来年はどこに旅行しようかと今から楽しみにしています。

秋田



『近況エトセトラ』

理事・啓発事業委員長 照井 勉
(テルイカンバン有価会社)

初めて金縛りにあったのは中学生の時、恐ろしくとんでもない体験をしたと思った。大人になるにつれそれは少なくなったがそれ以来「死」について考えるようになった。生は有限であり生あるものにはいつか必ず終わりが来る。人生は一回こっきりである。大人になっても時折、死んでしまえばあとは未来永劫この地球上から消え去り無になるのだ、そう考えると恐ろしさと悲しみがどっと押し寄せた。適齢期になり嫁さんをもらった、ある時お袋と三人で話をしていた俺は「死」についてそのような話をした。そしたら二人とも「バガケ、そうゆうことは考えるものでね」と笑われた。しかしある時「メモントモリ」という言葉にぶつかった。ラテン語で「自分もいつか必ず死ぬことを忘れるな」また「死を想え」とあった。解釈は様々にできそうだが、俺は死を思うからこそ人と仲良く、楽しく生きようと思っていたので、なくあんだ俺と同じ考えの人たちは昔からいたのだ、そう思うと嫁やお袋の鈍感を笑いたくなくなったが黙っていた。後期高齢者になり同じような年齢の友人知人がぼつりぼつりと亡くなる、もういつ逝ってもおかしくない年齢である。

相変わらず死のことを思うと昔ほどでなくてもいやになってくる。しかしまた気づいたことがあった、あの恐怖は昔ほど強烈ではない、少しわかってきた、この歳になって少しはボケて来たのではないか、人並に物忘れはするし人の名前が出てこない。順調に老いている、そうだがボケは死の恐怖怖を和らげてくれるのかもしれない。人間よくできているのだ。そう考えたらすぐく楽になった。後は本当にボケるまで突っ走るのだ。

以前にも機関紙に書かせていただきましたが、今年の秋にまた芝居をやりました。昨今マスコミを賑わせている詐欺を取り上げた芝居、題名は「うさぎ商会」。グループ名は「展楽座」といいます、座員は十二名。十年ほど前に座を立ち上げた座長が亡くなり、創立メンバーは俺一人になったので、なぜか代表になってしまった。今までは座長が台本を書いたりどっかから探して来たりしていましたが、座長亡き後なすすべがありません、俺はみんなに言った「芝居が命の座長はいないし、もう展楽座はやめてもいいのでは」と、そして一人の座員が「一番古いからと言って、あなた一人の展楽座ではありません」と。顔が赤くなった、そういえば五十年近くやってきて地元ファンもでき、メンバーはやる気がある。しかし台本はどうするか、俺は思った素人でも五十年近く芝居をやってきてできないことはない。構想を練り台本を書きあげました。面白いもので書き進めると勝手に物語が動きだし、セリフもポンポン勝手に出てきます、気が付いたら書き上げていました。オリジナル作品今回で四作目でした。以外にお客の反応も良く座員一同、打ち上げの美味しい酒を飲みました。

だまされてから 気づきましょう

「うさぎ商会」



2025展楽座
作：照井 勉
補筆：展 楽
演出：畑 中

展楽座第25回公演
2025年11月(2回公演)
～開場は各々30分前～
22日(土)午後6時開演
23日(日)午後2時開演
会場：ニツ井公民館
入場料：大人 900円
小中高 500円
後援：ニツ井町芸術文化協会

和子 牧子
工藤 隆文
菅原 千賀子
高橋 正人
高橋 勉
豊沢 町子
畑中 信子
畑山 真知子
畑山 基雄
山谷 翔太
吉沢 喜美子

芝居

▶チケット取扱い/ 時報堂・美容室ヤマネ・ミミ洋裁店・テルイカンバン

～先端新規ビジネスへ その開発思想は果てしなく～

東北藤光株式会社

www.t-tohkoh.co.jp

●各種看板資材取扱店●

〒983-0025

宮城県仙台市宮城野区福田町南1丁目2-46

TEL:022-254-0611

FAX:022-254-0608

BOXバン～ワゴン車
軽～普通車
平トラック・クレーン車
アルミバン
高所作業車
スカイマスタースーパーデッキ

レジャーに、お引越しに、工事作業に至るまで車のことなら何でも!!

エックスレンタリース北都株式会社

X Rent a car URL http://www.x-hokuto.com/

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 本社 TEL 022-385-6891 | 福島店 TEL 024-545-7755 |
| 六丁の目店 TEL 022-288-3711 | 郡山店 TEL 024-935-3711 |
| 長町店 TEL 022-304-5722 | 会津店 TEL 0242-33-3711 |
| 山形店 TEL 023-624-0151 | いわき店 TEL 0246-25-5333 |
| 米沢店 TEL 0238-23-4711 | 小名浜店 TEL 0246-54-5822 |
| 置賜店 TEL 0238-50-1516 | 原町店 TEL 0244-26-5693 |



「春よ来い」

理事・啓発事業委員長 木浪 崇
(株式会社太陽ネオン)

今年の青森市は積雪1.8mと、かつてない大雪に見舞われています。日本有数の豪雪地帯として知られている青森市ですが、今冬の雪はその想定をはるかに超えています。幹線道路こそ重機が入り何とか通行を保っているものの、住宅街では除排雪が追いつかず、生活道路は雪の壁に囲まれたままです。



朝、玄関の扉を開けてもすぐには外へ出られません。夜のあいだに降り積もった雪が行く手を阻み、雪かきから一日が始まります。腰の高さまで積み上がった雪をスコップで少しずつ運び出す作業は重労働です。高齢者世帯にとってはなおさら深刻で、体力の限界と隣り合わせの毎日が続いています。

計り知れません。駐車場から車を出すのも一苦労です。タイヤは雪に埋まり、車体の周囲を掘り起こさなければ動かせない。ようやく脱出できても、轍(わだち)にハンドルを取られ、目的地にたどり着くまで気が抜けません。通勤通学に通常の何倍もの時間がかかります。仕事や学業にも支障が出ています。外部の作業がメインの我々看板業には、今年の冬は特につらい日々が続いています。

豪雪は青森の冬の風物詩ですが、度を越えた大雪は災害です。気候変動による大雪にも対応できるような行政による迅速な除排雪体制の強化、地域での助け合い、そして県外からの支援も含めた広域的な協力が求められています。雪とともに生きてきた青森市だからこそ、この試練を乗り越える知恵があると思います。白一色の街に、一日も早く豪雪による災害の無い安心して暮らせる日常が戻ることを願っております。

除雪車はフル稼働していますが、降り積もる量がそれを上回っています。道路脇に寄せられた雪は行き場を失い、排雪が間に合わないまま山のように積み上がっています。その雪山が見通しを悪くし、車同士のすれ違いも困難です。救急車や配送車が入れない地域も多く市民生活への影響は



豪雪は青森の冬の風物詩ですが、度を越えた大雪は災害です。気候変動による大雪にも対応できるような行政による迅速な除排雪体制の強化、地域での助け合い、そして県外からの支援も含めた広域的な協力が求められています。雪とともに生きてきた青森市だからこそ、この試練を乗り越える知恵があると思います。白一色の街に、一日も早く豪雪による災害の無い安心して暮らせる日常が戻ることを願っております。



Lino (リノ) 電源内蔵型直管LED

高機能満載の最新型直管LEDランプです!!

片側給電 3年保証

片側給電で感電リスク軽減! 給電側(入力電源側(A・C))が表示があるので、取付の間違いも防ぎます!

NEW

器具 認証

防水性能: IP65相当

対ノイズ CISPR対応

省エネ

省エネ高効率 ECOランプ

CISPR15試験に合格

国際的な無線ノイズ規格(CISPR15)に合格。2027年の点検終了によるLED化にも安心してご利用可能な製品です。

追跡機能

バーコードシステム

給電側にあるバーコードを読み取ることで、製品を個別ごとにトレーサビリティが可能です。

フリッカーフリー

写真や動画で撮影してもちらつきがなく、目にも優しい設計

重量が大幅軽減!

LEDモジュール 品質業界No1

大型サイン向け高拡散レンズモジュール

輝度UP!!

NEW

DC12,24V, AC100V 各種モジュール レンズ式、etc対応

協和電工株式会社

〒547-0041 本社 大阪市平野区平野北1丁目7番12号
TEL (06) 6792-5000
FAX (06) 6792-5255

〒144-0052 Tokyo office 東京都大田区蒲田1丁目1番7号620号室
TEL (03) 5480-5003
FAX (03) 5480-5004
https://www.kyowadenco.co.jp
kikaku@kyowadenco.co.jp

QRコード

Made in Japan

未来へつなぐ、まちのサイン!!

創業78年の確かな力で! あなたの想いを「かたち」にします。

High-spec LED ビジョン

映像が空間をデザインする。

LED ビジョン施工

2026年始動。

ISHIZAWA for SDGs

石沢工業はSDGsへの取り組みを行っています

屋内外サイン全般・企画・デザイン・設計・製作・施工・管理・申請代行

株式会社 石沢工業

QRコード

本 社 弘前市神田2丁目4-20 TEL 0172-34-6661 仙台事務所 仙台市青葉区宮町2-1-59 TEL 090-1934-7138
青森営業所 青森市古館1丁目10-8 TEL 017-741-1383 第一工場/事業部 弘前市神田3丁目3-33 TEL 0172-34-9571
八戸営業所 八戸市宇上田面木28-2 TEL 0178-23-5030 第二工場/事業部 弘前市神田3丁目3-15 TEL 0172-32-4014
大館営業所 大館市宇都町33-2 TEL 0186-45-1516



八十三歳の看板少年の“夢”

岩手県屋外広告美術業協同組合
多田 國雄
(有限会社第一美工)

今年八十三歳になり感ずること
は、今の仕事は「神様」が与えてく
れた仕事なのだ、つくづく幸せを
感じている昨今です。

中学校を卒業し、十五歳で八戸の
映画館の看板工見習いとして就職し
て半年後、縁あって釜石の映画館で
製作を任せられることに：十五歳か
ら二十一歳まで同館に勤め、その後
別の映画館で二十五歳まで勤めあげ
た後、「有限会社第一美工」を立ち
上げ現在に至っており、看板生活六
十八年目になりました。

その頃は、映画館がみるみるうち
に激減し釜石もその余波で、数館
あった映画館が平成二年くらいで全
館無くなりました。

第一美工になってからは映画の看
板と共に、商店の看板、企業の看
板、デパートの看板やウィンドロー
スプレー等々映画館とはまた違った



看板製作に没頭したものです。

誰かの下で働いた経験が無く、全
てが自分自身の発想と設計やデザイ
ンに見積りと製作は新鮮で新しい感
覚を味わったものです。

実は、平成元年映画館が無くなる
一年前に、看板生活三十年の区切り
にと「スター似顔絵看板展」を開催
した事があります。裏方の仕事とし
て、殆んど人様の前で描くことは有
りませんでしたので、是非作画過程
を見て欲しいとの想いからでした。
当時のスター「中村錦之助、大川橋



蔵、ジョン・ウエイン、オード
リー・ヘプバーン」など、十八名の
スターを四日間、会場の皆さんの前
で描き、喜び楽しんでいただきました
た。

それ以来開催する機会が無かった
ので、現役のうちには是非もう一度実
現させたいとの想いがずっと心の
中に潜んでいます。残す機会はある
二年か三年、八十五歳か？
看板少年の願い“夢”は叶うの
か・・・



サイン資材から 大型品加工まで

樹脂、紙、木材、金属等 様々な素材に印刷可能!	カルブ文字や複雑な形にも 対応のマルチカットマシン!
 UVインクジェット ダイレクトプリンター Roland DG VersaOBJECT MO-180	 大型カッティング ルーター Esko KONGSBERG V

今春導入予定

**大型UVインクジェット
ダイレクトプリンター**

Roland DG VersaOBJECT LO-640



様々な樹脂関連製品、看板材料を
数多く取り扱っております。

あらゆる広告製品の「ものづくり」を提案してまいります。
看板・広告物に関する製作・材料選びは当社にお任せください。

 〒990-2445 山形市南栄町一丁目1-56
TEL: 023-632-2435 FAX: 023-632-2438
E-mail: shop@craft-art.co.jp



MARUWA SHOKAI

スリーエムジャパン株式会社 特約加工販売店

株式会社 **丸和商会**
〒321-0921
栃木県宇都宮市瑞穂 3-5-14
TEL: 028-656-3611
東京・高崎・郡山・仙台・秋田・青森
<http://www.maruwashokai.co.jp>

特集



全国大会を終えて

山形県屋外広告美術協同組合

専務理事

武田 裕之

明けましておめでとうございます
令和8年新年を迎えるにあたり、謹
んで新年のご挨拶を申し上げます。
昨年6月の第67回日広連全国大会
in東北・山形にご協力いただき有難
う御座いました。



全国各地より大会・懇親会462
名、観光米沢コースには定員いっ
ぱいの80名、湯殿山コースには30
名、最上川コースには38名、ゴル
フ大会には48名、婦人の集いには
26名とたくさんのご参加をしてい
ただきました。
大会終了後、無事開催できた安堵



感と達成感の中決算事後処理等バタバタと過ご
しておりました。年が明け日広連機関紙新年号が届
き開いてみれば、もう次回大会の広島大会の案内
が載っているではありませんか。「そうか昨年の
今頃は、案内の原稿だ、登録料だ！」と頭を抱え
ていた事を思い出しておりました。
まだ6ヶ月しか経っていないのです
が、もう何年も経ってしまった錯覚
に落ち込んでおりました。
全国大会を開催して準備をし、皆
様方をお迎えする経験をすると全国
大会に参加するたび「大変だったろ
うな。」と思ってしまうます。大会
に参加して楽しんでくるのが一番の
感謝なのかもしれません。
全国大会にご協力いただいた東北
地区連の皆様には心から感謝申し上
げます。
ありがとうございました。

令和7年度 屋外広告物点検技能講習会(新規・更新)

今年度も仙台市と盛岡市の2会場で、午前に更新点検技能講習会、午後に新規点検講習会を実施しました。4月12日の仙台会場では「更新技能講習修了者6名、新規技能講習会修了者21名」、7月26日の盛岡会場では「更新点検技能講習会修了1者、新規技能講習会修了者6名」が受講しましたが、2会場とも受講者が少ない状況で終了しました。

更新講習会については、前年に更新された方が多かった為とも思いますが、猶予期間を過ぎてしまった場合は、講習会終了者資格は失効し、改めて新規講習会の受講が必要となりますのでご注意ください。令和8年も仙台会場、盛岡会場での実施を計画しています。

なお、更新講習が必要な修了者には、主催者である日広連やサイン協会より随時開催通知が届きますので、猶予期間内で「更新」を行い各自で点検資格の保持をお願いします。

〈仙台会場〉4月12日(土)
卸町会館 大会議室
・立会監督 佐々木慎太郎 氏

・講師 星川 義和 氏(更・新)
岡 誠司 氏(新規)
森 英源 氏(更・新)
・運営係 鈴木 章広 氏
当連合会事務局 高橋



〈盛岡会場〉7月26日(土)
岩手県民情報交流センター アイーナ
研修室602
・立会監督 石井 正幸 氏

・講師 木村 光徳 氏(更・新)
藤田 健一郎 氏(更・新)
木浪 崇 氏(新規)
・運営係 佐藤 寧 氏
当連合会事務局 高橋



「第34回屋外広告士試験」実技対策事前講習会と「サインデザイン科」

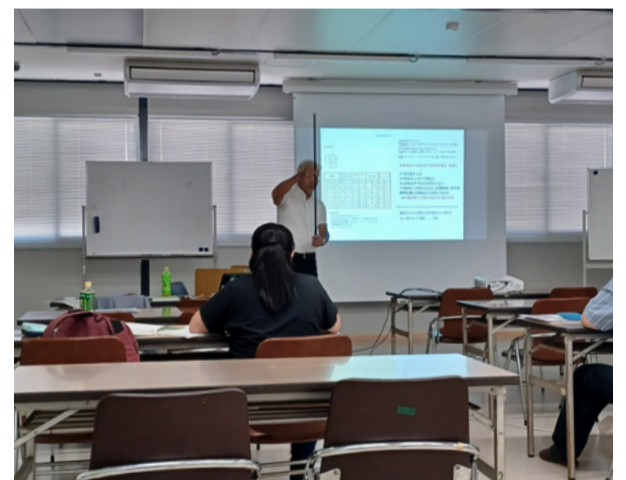
8回目の「屋外広告士試験実技対策(設計)事前講習会」は、令和7年9月27日(土)仙台市宮城野区田子にあります「宮城県立仙台高等技術専門校内」で、木村光徳氏(青森県組合前理事長)に講師をお願いし、当日は3名が受講しました。

今回は、実技試験で「設計」を選択された方が受講対象となりましたが、実技試験で設計を選択する方が少ないこともあり、組合員事業所1社、組合員以外2社からの参加となりました。

午前10時より開始した授業は、過去の試験問題集を参考に木村講師が纏めた内容を基に授業が進められ、午後からは各自で実際に例題を解きながら方眼用紙に書き進める授業が行われ、3者に対して当日の注意点なども指導され、予定通りに午後4時には終了しました。

現在、宮城県立の高等技術専門校を1箇所に集約して新たな宮城県立高等技術専門校へ生まれ変わります。それに伴い、宮城県立仙台高等技術専門校は新校舎建設と旧校舎解体や施設内改装工事が順次行われる予定です。令和10年4月に完成予定でしたが、種々の事情から若干工期が延びそうです。

またサインデザイン科ですが、令和6年3月に宮城県職員である訓練指導員の退職に伴い休科状態となっていますが、令和7年11月に待望のサインデザイン科の先生(訓練指導員)が決定しましたので、サインデザイン科も復活の見通しが立ちました。ただし、サインデザイン科での指導は、令和8年の1年間の職員研修及び指導研修期間を経て、訓練生募集後の授業開始は令和9年4月からとなりそうです。業界の将来を担うであろう若い人たちの育成場所の一つとして今後も大いに期待したいところです。



令和7年9月27日現在の校舎建設状況

第34回屋外広告士試験(仙台会場)報告

令和7年10月13日(月・祝日)に全国一斉に「屋外広告士試験」が実施され、東北地区では、仙台市若林区の「卸町会館 大会議室」を試験会場に当日は53名(61名申込、当日8名欠席)が受験されました。



試験運営担当は、開催県の「宮城県屋外広告美術協同組合」より、総括監理を佐々木理事長、係員として山口副理事長と鈴木専務理事、荒川事の3名が運営を担い、他に地区連事務局長が補佐として協力しております。

合格発表は、令和7年12月12日に日広連ホームページ上で行われ、全国から275名の新屋外広告士が誕生しました。そのうち、仙台会場からの合格者は19名でした。合格された皆さまおめでとうございます。

今回合格を逃した皆様へ……初回合格は難しく再チャレンジされる方が大方です。是非、諦めず次回令和8年の10月の試験へ向けて早めに始動していただければと思います。



【出展協力 全23社】

青森県 ▶ (有)千葉看板・(株)アート・サイン
サイトウ看板店

岩手県 ▶ (有)オックス画房・(有)第一美工

秋田県 ▶ (有)うりた看板・石松看板工房・(株)アートピア

宮城県 ▶ アサヒ広芸・(株)オオウチ工芸・(株)築館看板・(有)アカシヤ画房・(株)アベ美装・(株)美装社・(株)日の丸ディスプレイ仙台

山形県 ▶ (有)山形商美社・(株)スカワ・山新建装(株)×3 福島県 ▶ (有)とんぼ工芸・(株)天狗堂・(株)原町サイン・(有)芸プロ・(有)タカ工芸社



編集後記

発刊にあたり、ご協力を頂きました組合員の皆様並びに東北地区連啓発委員会の皆様に、心から御礼申し上げます。そして広告協賛にご協力を戴きました賛助会員の皆様にも重ねて御礼申し上げます。

昨年6月に行われた『第67回日広連全国大会 in 東北・山形2025』ですが、山広美の佐藤辰夫理事長を筆頭に、隅々まで気の行き届いた『おもてなしの心』が感じられる本当に素晴らしい大会となりました。山広美の皆様の総力が結集された『東北魂』が顕著に現れた対応に触れ、同じ東北人として誇りに感じます。大変お疲れさまでした!そして、同大会を応援する為に、東北各地より沢山のご参加を戴き、心から感謝を申し上げます。

今年は、サインフォーラム東北が青年部として毎年開催されている『全国交流会』が岩手県で開催されると聞いております。ご苦勞が重なると思いますが、更なる『東北魂』を発揮され、盛会されます事を心からご祈念申し上げます。編集後記とさせていただきます。

啓発事業委員長 石澤 敏行

編集・製作 木村 光徳